

こんにちは！生活クラブです。2019年度も**まるごと茨城**を開催します！

今回は**はたけの学校**の第一回の報告です。



とは・・・

茨城の提携生産者と共に茨城での自給率向上を進めながら

生産現場を知る活動をしています。

2019年度も継続して**はたけの学校**を行います。

はたけの学校とは・・・

・生産者の畑にて農作業体験を行い、農作業現場の課題について学びます。

2019年6月5日（土）**まるごと茨城「はたけの学校」**

いちご園場の後片付けを開催！



私が作った「いちご」(やよい姫)は生活クラブにしか出していない。
丸エビ冬野菜企画の安全・安心な「丸エビいちご」を皆さん食べてください！

丸エビ倶楽部・いちご生産者 萩谷 秀一(ハギヤ・シュウイチ)さん

萩谷さんより「いちご園場の片付け」について説明を受けました。

早速、ビニールハウスの中を覗くとマルチの上に

「カラカラに乾いたいちご」がビニールハウス一杯に広がっています！



ハウス一面に貼ってあるマルチを剥がします。





根っこまでしっかり取った
いちごをみんなで運び出します。

ビニールハウスの中は高温の為中々作業が進みません・・・



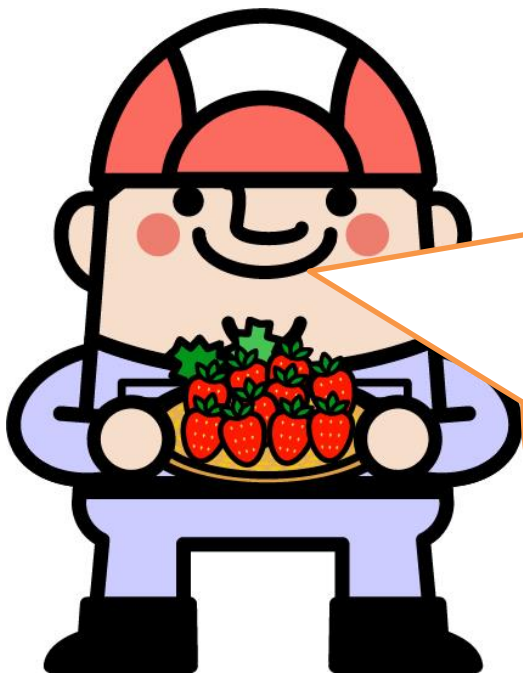
ビニールハウスから出て休
憩を取ります。出た瞬間の
風が気持ちいいです。



2棟のビニールハウスを片づける事が出来ました！



最後に全員で集合写真を撮りました。



一般的ないちご農家であれば、後片付けをしないでそのまま耕し、薬品を使用していちごを栽培しています。

萩谷さんのいちご畑はいちごを根っこから綺麗に片付け、米ぬかを入れてから耕します。米ぬかを入れる事により醗酵させ、ビニールハウスを締切ります。締め切る事でハウス内の温度を70℃まで上げ、殺菌します。

いちごの片付けが一番大変ですと萩谷さんただ、皆さんに安全な「いちご」を食べてもらいたいという思いがら手間を掛け栽培しています。手間を掛けた分収穫した時の達成感は何ものにも代え難いとの事でした。

次回の「まるごと茨城」は6月9日（日）

田んぼの学校・草取り・生き物調査

を開催します。お楽しみに！！